第１回臨時会

「町民の理解が得られない」町の不手際を追求

貸し工場建設の補正予算案を撤回

第１回臨時会が１月23日に開かれました。町からは、企業支援として貸し工場を建設するための設計委託料を含む一般会計の補正予算の提案がありましたが、反対意見が続出したことから、町では議案を撤回。貸し工場建設による企業支援策は白紙となりました。議会からは、農業委員の議会推薦が提案され原案どおり可決しました。

企業支援のため、貸し工場を建設するための設計委託料３００万円を含む一般会計の補正予算が提案されました。

町では、町が所有するマリンパーク山田跡地の遊休施設を企業支援策の一環として、企業に貸して利用させてきました。この企業から、業務拡大のため工場施設の増設を図りたいとの要望を受け、同跡地内にある建物を企業に貸すことで準備を進めていました。しかし、この遊休施設は、都市公園区域内にあるため、都市公園法により工場の操業ができないことが分かりました。

このため、町では代案として貸し工場を建設し、企業に利用してもらおうと計画を転換。今回の補正予算には、工場建設のための設計委託料が計上されました。貸し工場建設の計画概要は、豊間根新田地区の工業団地内に約５０００万円をかけ、軽量鉄骨造り平家建（１８０坪以内）の貸し工場を建設しようとするもの。

旧マリンパーク山田内の遊休施設

これに対し議会では、町の不手際で貸し工場を建設するのか、住民の理解は得られないなどの反対意見が続出したことから、町では議案を撤回。貸し工場の整備による企業支援策は白紙となりました。主な質疑概要は次のとおり。

問 厳しい財政状況の中で、経済効果もあまり望めない企業に対し、５０００万円を投資するのか。

町長 現在は約10人の雇用数だが、平成23年には30人規模とする計画がある。現に成長しつつある企業に対する行政の支援は理解されるのではないか。町民が雇用されるよう要請したい。

問 今後、新たな企業から支援の要請があった場合、町は同じような考え方で進めるのか。

町長 貸し工場制度を制度化して企業支援していく考えはあるが、財政の厳しさがあり、同様のケースで支援していくことは、なかなか難しい。

問 企業が示す形で事業が順調に推移するのか。町の過大投資になるのではないか。町の不手際による責任はどうするのか。

町長 必要最小限の施設で計画しており、賃借料もいただく。企業側が１００％有利な制度ではないと判断している。投資した額は20年間で回収する。

最終的な責任は私にある。責任の取り方は、検討して改めて示したい。

農業委員会委員２人を議会推薦

平成19年２月28日で任期満了となる農業委員会委員の議会推薦２人を決定しました。議会が推薦する農業委員は、前回まで３人の委員を推薦してきましたが、現在の社会情勢や選挙による委員数の削減が行われていることなどを考え、２人と決定したものです。

越田正一郎（しょういちろう）さん（織笠）
斎藤みつ子さん（荒川）

第２回臨時会

災害対応の復旧予算

第２回臨時会が１月29日に開かれました。町からは、岩手県沿岸知的障害児施設組合規約の変更、一般会計補正予算の２件が提案され、審議の結果、全て原案どおり可決しました。

今回の一般会計の補正は、昨年12月26日から27日にかけ発生した低気圧による被害の応急復旧を行うため、８９２２万円を増額するものです。主なものは次のとおりです。

- 単独林業施設災害復旧費…１７１万円の増
- 公共土木施設災害復旧費（馬指野橋の復旧工事など）…７２８０万円の増
- 単独土木施設災害復旧費（田名部川護岸の復旧工事など）…５４８万円の増